ファクトシート　ナイジェリア

ナイジェリア北東部における紛争地コミュニティの安定と早期復旧のための支援

From the People of Japan

国名：ナイジェリア

プロジェクト名：ナイジェリア北東部における紛争地コミュニティの安定と早期復旧のための支援

実施期間：2022 年 3 月～2023 年 3 月

パートナーシップ：国際協力機構（JICA）、ボルノ州復興・社会復帰・再定住省、アダマワ州緊急事態管理庁およびヨベ州緊急事態管理庁

予算：427 万 7,166 米ドル

開発課題

ナイジェリア北東部では、2009 年にボコ・ハラムの反政府活動が発生しました。13 年間に及ぶ暴力の末、基本的な社会サービスやすでに限られている天然資源は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行による複合的な影響の下で、深刻にひっ迫しています。

この地域で最も影響を受けた 3 つの州、すなわちボルノ州、アダマワ州およびヨベ州では、200 万人が国内避難民となり、870 万人が支援を必要とし、435 万人が食料不足に陥っています。

紛争は、生計、基本的サービス、ローカル・ガバナンス、社会的一体性という 4 つのテーマ分野で課題をもたらしています。

第 1 に、生計に関して、この地域の不安定さは失業や低い経済参加率につながります。

第 2 に、基本的サービスに関して、紛争は基本的なインフラ、保健・教育施設、商業ビル、私有不動産および農業資産の深刻な破壊を招いています。

第 3 に、ローカル・ガバナンスに関して、国、地方自治体およびコミュニティの各レベルのシステムは、紛争で被害を受けた不十分な設備や施設、情報管理システムの欠如、職員の訓練機会や他国での復興経験に関する知識の不足によって制約を受けています。

第 4 に、社会的一体性に関して、社会情勢の悪化は、この地域の女性と子供に不釣合いな影響を及ぼしています。

目的

UNDP の統合されたコミュニティ平和構築・復興アプローチを適用し、ナイジェリア北東部における紛争地コミュニティの社会的安定と治安を支援します。

プロジェクトの成果

成果 1：対象コミュニティにおいて生計と経済的機会の改善を図ること

成果 2：対象州で基本的サービスを回復し、ローカル・ガバナンスを強化すること

成果 3：社会的一体性とコミュニティの治安を高めるためのメカニズムを強化すること

このプロジェクトの下では、

2,000	**世帯の農家**が農業技術を向上させます。
1,000	**人の若者**が2カ月間の職業訓練の機会と起業のための現金補助を受けます。
1,500	**の村落貯蓄貸付組合**が強化され、1,500 人以上の参加者が融資を受けられるようになります。
5,200	人が基本的サービスへのアクセス向上の恩恵を受け、**1,050人の労働者が雇用されます**。
3	**州の政府高官**が日本の復興経験から学びを得ます。
1,800	**人のコミュニティメンバー**が、性とジェンダーに基づく暴力（SGBV）を防止するための訓練を受けます。
12	**の地域プラットフォーム**が、継続的な予防手段として設置されます。

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGs の目標 1、2、3、4、5、6、7、8、10 および 16 に貢献します。